平成 30年 2月 28日

研修報告書

氏名：日髙　義彦

所属：信州大学医学部附属病院 小児科

研修期間：平成 29年 4月 1日　～　平成 30年 3月 31日

研修場所：信州大学医学部附属病院遺伝子診療部

受講動機：

補体関連疾患や腎疾患に関する遺伝医療に携わりたく、臨床遺伝専門医取得を目指そうと考えたため。

研修内容：

月1回金曜終日；遺伝子診療部外来。

火曜日夕方；遺伝子診療部カウンセリングに参加。

研修成果：

* 染色体異常や遺伝子変異に起因するまたは疑われる疾患の診察ポイントや医学的管理について学ぶことができた。
* 臨床遺伝専門医や遺伝カウンセラーへの患者さんの紹介や相談の内容・タイミングについて、具体的にイメージできるようになった。
* 出生前診断についての考え方やカウンセリング法を見聞し、依頼者の不安を軽減したり、（出生前診断への）理解を深めてもらう事の重要性を認識できた。

その他（感想・要望・反省点、等）：

* 医療現場における傾聴の重要性、患者さんや依頼者の不安や要望を引き出すことの重要性を再認識でき、よかった。